

紫西会報

第 55 号

発行所

茨城県筑西市下中山590

茨城県立下館第一高等学校

紫西同窓会

TEL (0296) 24-6344(代)

FAX (0296) 25-4673

印刷所 戸頃印刷所

未来への願い

紫西同窓会長 林 廣明
(第四十一回卒)



下館紫西同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、同窓会の発展にご支援ご協力を頂きまして心よの感謝申し上げます。

早いものです。令和七年の春が訪れました。

令和五年に母校下館一高の創立百周年記念事業が挙行されてから約二年の歳月が経過しました。

百周年記念事業として記念式典、記念誌(花かんはし)及び会員名簿の編纂、グラウンド夜間照明及び記念モニュメントの設置、そして教育活動支援基金の募金活動等が実行されましたが、実行委員長として全事業が無事に終了致しました時、肩の荷が下りて

ホッとした開放感は今でも忘れることが出来ません。

同窓生に出会うと必ず下館一高時代が話題となります。

何年経っても青春を謳歌した高校時代が忘れられないのです。

下館一高時代で一番印象に残る思い出は最初の英語の授業でした。先生が英語で挨拶を始めたのには驚きましたが、その挨拶に女生徒が英語で返答したことは、更に衝撃的な出来事でした。私の自信が何処かへ飛んでいきました。

私は、昭和四十年(一九六五年)に卒業しましたが、それから約六十年が経過しました。

私達が先輩達の足跡を辿り、そしてその後、後輩達が私達の後に続いていくのです。

最後に下館一高の自由奔放な校風を後輩達が受け継いでくれることを願っております。

支部活動報告

筑西支部

筑西支部 宮川 昌巳
4月に35名の出席により、令和6年度の定期総会・懇親会を開催しました。



7月には、下館一高教育活動支援基金へ10万円の寄付を行うとともに、新

同窓会名簿へ名刺広告を掲載しました。

11月には、41名の出席により、研修会・懇親会を開催しました。研修会では、筑西市副市長の菊池雅裕氏(昭和51年卒)から「筑西市20年の歩みとこれから」と題する講話をしていただきました。懇親会も盛り上がり、大変有意義な時を過ごすことができました。

来年度も、支部の活動をより充実させたいと考えています。

筑西市にゆかりのある(在任、勤務、出身)方の支部への入会をお待ちしております。

(連絡先)

0296-22-3886(宮)

桜川支部

桜川支部 伊東留真連
令和6年度下館紫西同窓会桜川支部総会が5月18日桜川市の細谷鮮魚店にて開催されました。

来賓に下館紫西同窓会会長である林廣明様、下館第一高等学校長木村功様を御招きし支部長の挨拶のあと来賓の林様、木村様のご挨拶がありました。

支部長からは、館一の未来を担う生徒への支援、母校を思う気持ちをもつて支部活動に努めていきたいと、また、紫西同窓会が桜川市の発展に寄与できればとの挨拶がありました。

その後支部長の司会の元、令和5年度桜川支部事業報告、決算報告、令和6年度事業計画案、予算案について審議され承認されました。

総会終了後懇親会が開催され、館一時代の思い出話や桜川市の未来の話で盛り上がり盛況のうちに閉会されました。

(連絡先)

0296-76-2401

結城支部

結城支部 赤坂 治久

結城支部は令和五年五月二十八日設立以降母校の百周

年記念事業・式典等に積極的に参画協力に努めました。

翌年一月十九日に新年会兼支部役員会を「綱屋」にて開催しました。三月十五日に役員会を開き、二十四日に百周年記念事業実行委員会にて総収支の報告を受けました。

五月八日に総会準備のための役員会を開き二十五日に令和六年度支部総会を喜久家本店大ホールにて開催し、議事終了後に同窓生(昭和44卒)のいい・のみち氏著「日本のルーツ・筑波山」出版記念講演を行いました。

講演終了後懇親会では、当初初めての出会いもあって「貴方も同窓生?」と大変盛り上がりがありました。即売品として百周年記念誌とDVD・ト



ートバックの持ち込みもあり、希望者が購入する場面も見られました。

設立三年目に当たる本年は市内出身の方にとどまらずにゆかりのある方の入会をお待ちしております。

(連絡先)

090-1805-1476

FAX

0296-32-3711

次の百年に向けて のスタート

校長 木村 功



育の内進生と高校から新たに入学してくる高入生の融合、進学重視型単位制過程完成による個別最適な学びの提供、これ

まで以上に生徒の主体性を育む教育活動、すべてをもって

どう成長し、どのような意思をもち果立っていくかに注目が集まるかと思えます。進路実績だけでは表せない部分も含めて、生徒に寄り添い、進路希望の実現に向けて努力しているところです。

○令和六年度の活躍

きようとしていきます。

○本校の近況

令和七年度は附属中内進生が高校3年次の最高学年へと進み、新生下館一高の完成形を迎えます。六年間一貫教

ではライフル射撃部と弓道部が全国大会へ、文化部では文芸部が俳句甲子園へと駒を進め熱戦を繰り広げてまいりました。また、登山部や陸上競

技部も関東大会へと進出し、日ごろの練習の成果を発揮してきました。選手権県ベスト16の野球部や音楽会で入賞常連の吹奏楽部など、高校生の加入率80%を超える盛んな部活動が学校に活気を与えてくれています。また附属中学校においても同様で、各学年一クラスと部員数確保に苦慮する中ですが日々の活動を充実させ、運動部、文化部ともに上位大会に進出するなど文武不岐を体現しております。詳しくは学校ホームページをご覧ください。幸いです。

○教育活動のアップデート

予測困難な社会や未来に向けて正解を創ることができ、人財育成の必要性が問われており、課題研究を通じた探究活動が力ギとなっています。これは課題を自ら設定し、情報収集、仮説、検証、考察、協働、情報発信を体験するのはもちろんのこと、基礎としての各教科の学習をどう束ね、横断させ、補い合い、使

うか、主体的に学ぶ楽しさを経験し、さらなる生徒の飛躍を援助できるようにする活動です。本校は茨城県から県立高等学校等チャレンジ・プロ

ジェクトの重点校指定をされ、日ごろの練習の成果を発揮してきました。選手権県ベスト16の野球部や音楽会で入賞常連の吹奏楽部など、高校生の加入率80%を超える盛んな部活動が学校に活気を与えてくれています。また附属中学校においても同様で、各学年一クラスと部員数確保に苦慮する中ですが日々の活動を充実させ、運動部、文化部ともに上位大会に進出するなど文武不岐を体現しております。詳しくは学校ホームページをご覧ください。幸いです。

○百周年事業のご寄付活用

多くの同窓生の皆様からお寄せいただいた百周年事業のご寄付について、会長をはじめ同窓会役員の方々とご相談させていただき、次のような教育活動でのご支援をいただく運びとなりましたので報

告と御礼をいたします。

一、紫西会館の改修

一階同窓会室および隣の和室を新たな同窓会室および書庫へ、また一階男女トイレの個室増設と洋式化へ全面改修を行う予定です。これにより紫西会館での同窓会庶務や会議、会合、生徒の活動が快適になることと思います。また二階和室は洋室化します。近い将来に学習館機能を付加し、休日開館による学習場所の確保をベースに学びのシンボルにしていきたいと考えています。同窓会館という建物の性質上、茨城県からの費用捻出が立ち行かなかったため今回の改修には大変感謝いたしております。

二、グローバル教育の充実支援(グローバル基金として運用)

オーストラリアへの海外研修プログラムへの補助をお願いし、現地での研修内容充実の支援をお願いしております。本校が目指す「地域に根差したグローバル人材育成」に向け、この行事に参加した生徒は高い意識をもってすべ

ての生徒を先導してもらいます。

三、特別活動・学習活動の充実支援(教育活動基金として運用)

部活動や学習活動での上位大会参加や講演会など、生徒の日々の教育活動を支援していただき、これまで以上に何事にも主体的かつ意欲的に取り組む自主自立の校風を醸成していきたいと思います。

○今後に向けて

本校を学び舎とする生徒さんは、実に素直で心優しく一生懸命です。この気質は成長に不可欠で伸びしろが感じられます。これからの地域の人口減少などを見据えると、地域や同窓生の期待に

え、これまで以上に信頼を得て、広く周辺にもその名実を轟かせるために「下館一高らしい生き生きとした生徒の教育活動」を創ることが大切だと考えます。これまでの歴史からおぼろげながら手がかりが見えてきたような気がしております、次の百年に向けての頑張

りポイントを全教員で共有したところ。今後もご協力をいただくことが多いかと思

いますが、よろしく願っています。

たします。

新任の先生よりメッセージ

下館一高・附属中に赴任して

教頭 中尾 健一



紫西会報

3月末に転勤先が下館一高であることを知り、ワクワクした気持ちで今も忘れられませんが、母校で勤務できることになってとてもうれしく思います。できれば、教諭として、数学の教科指導がしたかったところですが、高校時代のことでお話しできることは少ないと思います。当時の自宅から学校までの通学時間は、徒歩で8分。授業も部活動も一生懸命取り組んでいたこともなく、実績を残していることもなく、ほぼ何もせずに時間だけが過ぎていった高校3年間でした。当時、第2次ベビーブームで1学年9クラスありました。あまりの生徒の多さに驚きました。しか

も、みんな頭がよさそうに見える、現に頭がよくて「できる生徒ばかりだった」と思いますが、出しゃばうものなら、蹴落とされるような世界に感じました。今思えば、もっと前に出て、いろいろな活動してもよかったと後悔していますが、授業中に寝ることも多く、予習もしていかなかったため、授業担当の先生方に失礼なことをしていたと反省しています。このような高校3年間を過ごしたため、大学受験は大失敗に終わりました。浪人確定です。私は、この浪人1年間でかなり成長したと思います。ほぼやっていなかった高校3年分の学習内容をやり直すために、睡眠時間は3時間程度。予備校に通い、勉強をたくさんしました。予備校では、自由席での講座だったため、座席を一番前にしてみました。『勉強が楽しい。数学が面白い。』とても不思議な感覚になりました。無事、大学受験をクリア。勉強が楽しい感

覚のまま大学でも同じように授業を受けていました。『数学が楽しい。』高校で活動できなかった後悔から、自分のような生徒の後押しがしてみたくて、教員になりました。ところで皆さん、今の館一は楽しいですか？

下館一高・附属中に赴任して

附属教頭 入江 宏昭



今年度、坂東市立香掛小学校から赴任しました。県立学校での勤務は初めてです。伝統ある進学校である下館一高、県西地区で最も早く設置された附属中の一員として生徒たちの成長を支えていけることを大変光栄に思います。今回の異動で小・中・高の学校に勤務することとなります。今までの経験で得た知識と情熱を注ぎ、生徒たちが主体的に学び、多様な価値観に触れ、そして先行き不透明な時代の中でも、ともに成長で

きるような学校作りを目指して参ります。

私が子供たちに身に付けてほしい力の一つに「レジリエンス」があります。これは困難な状況や逆境に直面した際、立ち上がり、乗り越えていく力のことです。現代社会は変化が激しく子供たちは様々な困難に直面する可能性があります。しかし、困難を乗り越える経験は、子供たちの成長を促し、将来を拓く力になると信じています。

保護者の皆様には、学校と家庭とが連携し、子供たちの未来をともに築いていくパートナーとして、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

学校行事への積極的な参加やPTA活動へのご協力など、皆様の温かいご支援が生徒たちの成長を大きく後押しします。

今後とも本校へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



下館一高・附属中に赴任して

見川 浩史



今年度、古河三高から赴任いたしました。担当教科は数学です。

新規採用以来、県西地区の高校に勤務しておりますので、下館一高の素晴らしさ、頑張っている様子を常々拝見しておりました。実際に下館一高に勤務してみても、学校生活全般にわたり、生徒の皆さんが自主的に、そして積極的に活動している様子を感じました。教員生活も最終盤となりましたが、生徒と共に、もう一段成長できたらと思っています。

さて、最近自転車に乗ることがありました。近所に広報紙を配るために利用しました。自転車で乗るなんて何年振りだろう。ちょっと「ふらつき」ながらも、当たり前に乗れました。まあ、当然といえば当然ですが。実際、タイ

ヤの付いているものなら、自転車・バイク・乗用車に軽トラ、そしてトラックまで、無理すれば三輪車だって乗れます。でも、唯一、一輪車には乗れません。うちの子どもの頃は、保育園で練習したため、成人した今でも、自由自在に乗れています。私も子どもたちと一緒に練習しようと思っただけでもあったのですが、面倒くさくて諦めました。もし、あのころ、一生懸命練習したら、乗れていたのかな？でも、今となっては、ケガするだけだから諦めます。

改めて、学ぶこと、経験することには「適期」というものがあることを感じました。そして、一度しっかりと身につけたものは「一生もの」であると思います。

高校の三年間は、今後の人生の基礎を築くための「勉強」をする最大の機会です。皆さんには、今を大切に、やるべきことを精査して、チャンスを見逃さず生活して欲しいと思います。生徒の皆さんの頑張りを応援しています。今後ともよろしく願っています。



今年度、下館第二高等学校より赴任いたしました。教科は地歴科を担当しております。

創立百年を超える県西地区を代表する伝統ある館一に勤務すること光栄に思っております。プレッシャーを感じている今日この頃です。

昨年度は、隣の学校におりましたので、市内で館一の生徒を見かけることもあり、何となく自由闊達な生徒たちだなと感じながら見ていました。いざ、勤務することになり、生徒たちを目の当たりにすると、これまで何となく感じていた以上に自由闊達で活気があり、いろいろなことに前向きに取り組む生徒達の姿やそのパワーに驚きました。特に、日々の部活動での自主的な活動や文化祭・クラブマッチなどの行事に対する生徒

主体の計画的・活動的・協力的な参加は印象的でした。もうすぐ赴任して一年がたちますが、館一は生徒たち皆さんが自分を成長させるための機会がたくさん用意されている学校だと感じました。ぜひ生徒の皆さんには、様々なことにチャレンジして、自分を見つめ、自己実現を図るために役立てて欲しいと思います。チャレンジして仮に失敗したとしても、その失敗から学ぶこともたくさんあるはずです。失敗は自己を成長させる。これは私の体験からも確実に言えることです。

生徒の皆さんが成長できるよう一生懸命頑張るとともに、自分も成長していきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

下館一高・附属中に赴任して

廣木 達也



今年度、結城一高より異動

して参りました。担当教科は社会科で、今年度は一年生の歴史総合を受け持っています。また、一年六組担任で陸上部とハンドボール部の顧問をしております。

赴任して最初の学校行事は離任式でした。その中で前任の校長である奈良先生は、次のように話をしてくださいました。「人生には三つの坂があります。その三つとは上り坂と下り坂、そして『まさか』である。その人生の『まさか』の時に友達を助けてあげられる、そのような人間になってほしい。」

私の高校生活を振り返ってみると、『まさか』の連続であったと思います。貧血がひどくなり、入院した時もありました。また、通学途中に車にはねられてしまい、その時は首にコルセットを巻いて授業を受けていました。さらに、自宅が火事になり、生活することもやつの時期もありました。そのような時、私を助けてくれたのは友人であり、学校の先生でした。

奈良校長先生の話を聞いて、それらのことを思い出しました。もしかしたら、今こ

の時『まさか』に遭遇してしまっている生徒がいるかもしれない。教員となった現在、その生徒の『まさか』に寄り添わなければならないと強く思っております。

下館一高・附属中に赴任して

森 健人



今年度、下館第二高等学校より赴任いたしました。教科は英語科を担当しております。

さて、プロ野球の世界で長く活躍された野村克也さんが大切にしていた言葉に次のようなものがあります。それぞれ漢字一文字が入るようですが、何が入ると思いますか？「()を残すは三流、()を残すは二流、()を残すは一流」

いかがでしょうか。答えは、『金』を残すは三流、『名』を残すは二流、『人』を残すは一流だそう。人生にお

いて財産を築いたり、仕事で業績をあげたりすること以上に、人を育てることは難しく、それゆえ価値があるという言葉だそう。

私はこの言葉を信じて、下館一高の皆さんの自己実現のために少しでも貢献できるような尽力していきたい、と考えています。

ではどういった『人』となっていけばよいのでしょうか。私は「人間性の高い」人だと思っています。日々のあいさつ、返事、掃除、しっかり行っているでしょうか？また、人としての素直さ、感謝の気持ち

を伝えることなど、高校生のうちに身に付けてほしいことはたくさんあります。完璧な人間はいませんし、大人も子ども間違えることはあります。ただ、心がけはできるはずです。お互いに日々試行錯誤しながら、成長していきたい。よろしく願っています。



下館一高・附属中に赴任して

齋藤 真輝



今年度、新採として下館第一高等学校へ赴任しました。教科は理科(地学)、二年四組副担任、男女ソフトテニス部顧問を務めさせていただいています。

昨年度は、下館南中学校で講師として一年勤め、三年年の受験指導をしてきました。無事に送り出した生徒を再び迎え入れる、不思議な高校教員人生の始まりでした。さらには、同僚の先生方の中に高校時代の恩師がいらしたり、赴任してからまだ一年ですが、様々な縁に恵まれていると日々実感しています。

さて、私が下館一高で生活をしていて常々感じるものが一つあります。生徒たちが「素直すぎる」ということです。全員がというわけではありませんが、かなりの割合が高い印象を受けています。素晴らしい

前任校である八千代高校を経て、今年度より赴任させていただきます。

昨今、様々な分野において人から機械への技術的なバト



大野 修平

下館一高・附属中に赴任して

い特性である一方で、社会に出たあとを心配になることもあるくらいです。教員としてまだまだ未熟な私の言葉、テニス未経験者の顧問の提案でも、真剣に耳を傾けてくれます。そのような生徒が多いからこそ、自身の発言や行動に一層責任を感じています。

生徒たち一人ひとりの良さを伸ばすもタヌにするのも教員であると思います。これ以上なく素晴らしい環境に甘えることなく、自身の能力向上に励み、生徒それぞれが目標を達成できるよう全力で支えていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ンタッチが行われる中、より「個人」としての活躍の場を作り出すためにも、人ならではの言葉の力が益々重要になっていると感じます。

国語の授業で行われる、読む・書く・話すという活動はもちろん、部活動や受験勉強において目標を具体的に「言語化」する能力、日々の生活や学校生活で人との距離感を測り、協働するための「対話」する能力など、学校における活動のすべてが言葉の力を培う場になり得ます。

多くの機会の中で、高校生に大切にしてほしいと思うているのは、「自分なりの言葉を見つめる」という高度な達成よりも、「こんな言葉を使っていたことがある」という経験そのものです。言葉以外にもいってもそうかもしれませんが、調べればすぐに正解が見つかるような人伝いに聞いたものよりも、自分自身が経験し納得したものは長い人生において大きな支えになってくれます。一つの経験がすべて成功に繋がるとは限りませんが、仮に失敗したとしても、将来の自分へとその経験が引き継がれるという意味では、「経験

したもん勝ち」と言ってもいいかもしれません。

高校生という、長いようで短く、尊い三年間の中で、共に将来を照らす機会に携われることを、嬉しく思います。

今年度、国語科教諭として新規採用で赴任しました。教員一年目から母校の下館一高に戻ってくるのができ、とても嬉しく思っております。

古典の授業で定番となっている『竹取物語』にこんな一節があります。「翁、心地悪しく苦しきときも、この子を見れば苦しきことも慰みけり」。現代語に訳すると、「竹取の翁は気分が悪く苦しいときも、かぐや姫を見ると苦しいことも収まってしまふ」といったところでしょうか。私は高校生の頃、竹取の翁が気分の悪さから回復できたのは、かぐ



埜 月琴乃

下館一高・附属中に赴任して

や姫の持つ不思議な力ゆえだと考えていました（実際そうなのかも知れませんが）。

しかし、大人になってからこの一節に触れて、それだけではないことに気が付きました。

私自身、ちょっと疲れたなあと考えた時でも、教室に行つて子どもたちの顔を見ると、とても晴れやかな気持ちになります。教員一年目は楽なことばかりではありませんでしたが、子どもたちの顔を見ただけで、いつも元気が湧いてくるのです。まさに、かぐや姫を目にした竹取の翁といった具合に。

私たち大人は、いつも子どもたちからお金では買えないものをたくさん貰っているのでしょう。副顧問をさせていただいている吹奏楽部の皆さんの音楽や、一年生の生徒が調理実習で作ったというマドレーヌ（美味しくてたぎました）などなど、全て何物にも代えがたい宝物です。

これから、竹のようにすくすくと成長していく皆さんを見守っていけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

や姫の持つ不思議な力ゆえだと考えていました（実際そうなのかも知れませんが）。

しかし、大人になってからこの一節に触れて、それだけではないことに気が付きました。

私自身、ちょっと疲れたなあと考えた時でも、教室に行つて子どもたちの顔を見ると、とても晴れやかな気持ちになります。教員一年目は楽なことばかりではありませんでしたが、子どもたちの顔を見ただけで、いつも元気が湧いてくるのです。まさに、かぐや姫を目にした竹取の翁といった具合に。

私たち大人は、いつも子どもたちからお金では買えないものをたくさん貰っているのでしょう。副顧問をさせていただいている吹奏楽部の皆さんの音楽や、一年生の生徒が調理実習で作ったというマドレーヌ（美味しくてたぎました）などなど、全て何物にも代えがたい宝物です。

これから、竹のようにすくすくと成長していく皆さんを見守っていけたらと思っております。よろしくお願いいたします。



小島 和男

下館一高・附属中に赴任して

い気持ちになります。些細なことにも感謝の気持ちを持ち行動する。とても素晴らしいことだと思います。お互いに気持ちよく生活することができて、心を穏やかにしてくれます。

私はいままで普通高校・工業高校・特別支援学校などを経験してきました。その中で、「とりあえずやってみる」という気持ちで取り組んできました。まずは何事もやってみてそのことをもとに考えて行動しました。うまくいくこと、うまくいかないこといろいろありましたが、やっている中でいろいろな学びがありました。そのことが今の自分を作ってくれました。

また、自分なりに努力していれば、必ず助けてくれる人がいます。本校でも、多くの先生方や生徒に皆さんに助けてもらい助かっています。

今、土日は家の近所を走ったり、軽い筋トレをしたりするようにしています。これはフレイル予防で筋力低下が日常生活に影響を及ぼさないようにということからはじめました。十年くらい前から始めましたが、おかげで、今は体

報 調面でも大きな不調もなく生活できています。皆さんも些細なことでもいいですから、ぜひ何か継続して取り組むことを見つけてはいかがですか。紫「継続は力なり。」です。

下館一高・附属中に赴任して

中村 恵里奈



今年度、国語科講師として、日立工業高等学校より赴任してまいりました。前任校では、書道の講師として、七年間勤務しておりました。その中で国語の授業を実施したのは、一年間だったため、下館一高で国語の授業を実施することが決まった時は、不安で仕方ありませんでしたが、少しずつ慣れてきているように感じます。

私は、幼い頃から書道が好きで、小学校から高校まで書塾に通い、高校では書道部、大学も書道学科に進み、今でも続いています。最初は「左利

下館一高・附属中に赴任して

中島 陽樹



きたから」という単純な理由で書塾に通われ、嫌々通っていました。時間が経つにつれて文字を書く楽しさ、更には筆で様々な表現ができるという魅力に気づきました。筆一本あれば、太さを変えたり、墨の量を変えてかすれさせてみたり、逆に滲ませてみたり、様々な表現ができます。ICTがどんどん発展している現代社会ですが、そのような中でも、手書きの良さを忘れず、好きな書道を国語の授業の中にもうまく取り入れていきたいと思っています。

下館一高に赴任してから半年以上が経過し、日々生徒たちと共に成長しているように感じます。生徒に様々なことを教えるのはもちろんですが、私自身も生徒たちに様々なことを教えてもらっています。授業、部活動などを通して、生徒たちと共に成長し、生徒たちが充実した学校生活が送れるようサポートをしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

今年度、私は下館一高にて「先生」のスタートを切りました。夢が一つ、現実になりました。ここで疑問です。私はどの瞬間から「先生」となれたのでしょうか。四月に木村校長先生から辞令を受け取ったときでしょうか？ 奈良前校長先生からの誘いを受けたときでしょうか？ 先輩の先生方に「中島先生」と呼んでもらえた時でしょうか？

いいえ。私は、生徒たちから「先生」と呼んでもらえて、初めて「先生」たりうろと思っと思っています。これを読んでいる在校生のあなた、あなたが私の「先生人生」を始めてくれたのです。おかげさまで私の夢が叶いました。本当にありがとうございます。

その恩返しといっっては何ですが、私から一つ、遊び道具を紹介します。その名も「懐

疑心」です。

「50+50=98」これを見たら多くの人は即座に間違いだと言いつけるでしょう。黒板に書いて笑われるかもしれません。しかし、化学においてはある条件下で成立します。それはどのような条件でしょうか。

ときに存在しないものに触れることができ、時計は正確な時を刻まない。当たり前に当たり前に覆る。誰もが自分自身の視野の限界を、世界の限界だと思い込んでいます。「ドイツの哲学者ショーペンハウアーの言葉です。『50+50=100』」と思い込んでいませんか？ あなたの想像を超えたあなたに出会う。そのために、私は化学を提供します。私は「化学の先生」です。

下館一高・附属中に赴任して

飯島 一輝



四月から事務職員として下

館一高に新規採用で赴任しました。昨年度末、茨城県職員等採用試験で最終合格し、今年度より茨城県職員として勤務しています。

昨年度三月まで、私の最初の配属部署が、公立学校になるのも思っています。下館一高になるのも思っています。私にとって新しい人生であり、不安や緊張を感じる部分もありましたが、温かく活気に満ちたこの下館一高で、仕事ができることをとても嬉しく思い、日々職員の方々に有難みを感じています。下館一高の生徒の皆さんの明るい挨拶や積極的な動き姿勢には、とても感心させられ、晴れやかな気持ちになっています。

私が高校生になった令和二年四月は、コロナ一斉休校が始まった頃でした。入学式直後、二ヶ月程度一斉休校が続く、夏休みは短縮され、その後の学校行事などは中止や規模を小さくしての実施が相次いだのを思い出します。

新規採用一年目で下館一高に配属され、修学旅行や七曜祭といった数々の学校行事をはじめ、かげがえのない高校三年間を支えられることをとても嬉しく思っています。

高校の三年間はあっという間に過ぎていきますが、将来に関わる大切な三年間であると思っています。生徒の皆さんには、この三年間で目標に向かって頑張って打ち込み、豊かな友人関係を築き、充実した思い出に残る高校生活を送っていただきたいと思っています。生徒の皆さんの頑張りを応援しています。

まだまだ未熟ではありますが、私自身も成長しながら、皆さんのために頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしく願っています。



進路指導の現状

学習進路部長 薄井裕美

【近年の入試概況と今後の展望】

昨年8月、文部科学省は「急速な少子化が進行する中で、将来社会を見据えた高等教育の在り方について（中間まとめ）」を発表しました。もはや言い古された感もあります。1966年約249万人、2023年約110万人と大学進学者の増加（1966年約29万人、2023年約63万人）は大きな特徴です。さらに、DX（デジタルトランスフォーメーション）・GX（グリーン・トランスフォーメーション）等の進展に伴う人材需要の変化についても言及し、意識・行動面を含めた仕事に必要な能力等も、2050年には、問題発見力、的確な予測、革新性が一層求められるとしています。

和されています。こうした状況下では、入学するために激しい競争が行われる選抜性の強い大学が存在する一方で、入学定員を充足できない大学も少なからず存在します。2040年の大学入学者数は約51万人と推計され、2023年からの17年間で入学定員1000人の大学120校分が余剰となる計算です。

【本校生の状況】
2024年3月の卒業生は、国公立大学に64名が合格しました。内訳は学校推薦型選抜・総合型選抜17名、一般選抜前期38名、後期9名でした。茨城大学には推薦5名、前期10名、後期7名、筑波大学には推薦3名、前期1名、県立医療大学には推薦2名、前期2名が合格しています。私立大学については、学校推薦型・総合型選抜で46名、一般選抜でのべ410名が合格しました。

【本校の取り組み】
本校は、様々な変化に積極的に向き合い、多様な人々と協働して課題を解決する力や、新たな価値を創造する力を持つリーダーを育成することを、目指しています。多様化する入試に対応し、生徒一人一人の十年後、二十年後の未来を見据えた指導をしていきたいと考え、様々な取り組みをしています。今年度の主な進路行事は以下の通りです。（予定含む）

【高1】
・進路講演会（生徒・保護者）
・オープンキャンパス発表会
・小論文講座・模試
・志望理由書講座
・企業訪問
・紫西フレカレッジ
・安河内先生英語講演会
・小論文講座・模試
・複数年
・学校開放
・難関大医学部進学支援講座
・医学生との懇談会
・医療系小論文講座
・合格者との懇談会
（各行事の内容につきましては、HP等をご覧ください。）
また、大学の公開授業・講座等への参加を奨励しています。

【高2】
・進路講演会（生徒・保護者）
・オープンキャンパス発表会
・小論文講座・模試
・志望理由書講座
・企業訪問
・紫西フレカレッジ
・安河内先生英語講演会
・小論文講座・模試
・複数年
・学校開放
・難関大医学部進学支援講座
・医学生との懇談会
・医療系小論文講座
・合格者との懇談会
（各行事の内容につきましては、HP等をご覧ください。）
また、大学の公開授業・講座等への参加を奨励しています。

【高3】
・進路講演会（生徒・保護者）
・志望理由書講座
・小論文模試
・茨城大学学部説明会
・宇都宮大学学部説明会
・GMARCHの英語講座



主な大学合格者数

(年度は入試年度です。)

(主な国立大学)

大学名	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
東 北	1	0	0	0	1
山 形	1	3	4	0	4
福 島	2	2	7	5	6
茨 城	22	11	24	24	19
筑 波	4	5	2	4	4
宇 都 宮	9	12	13	15	11
群 馬	2	2	0	4	7
埼 玉	3	4	8	6	7
千 葉	1	0	0	3	1
東 京 外 語	0	0	1	0	1
東京科学(東京工業)	0	0	0	0	1
東 京 学 芸	0	0	2	0	0
横 浜 国 立	0	0	0	1	0
そ の 他	7	9	5	11	5
国 立 大 計	52	48	66	73	72

(主な私立大学)

大 学 名	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
国 際 医 療 福 祉	17	15	8	12	17
獨 協	13	21	18	21	17
文 教	25	14	16	17	16
青 山 学 院	1	4	3	3	3
学 習 院	3	1	2	2	0
北 里	5	5	3	5	2
慶 應	1	1	1	1	1
國 學 院	1	4	10	1	3
駒 沢	10	9	7	7	5
芝 浦 工 業	2	1	3	3	4
成 蹊	4	2	6	4	0
成 城	2	1	4	1	0
専 修	9	9	9	13	7
中 央	4	8	7	9	3
津 田 塾	0	0	2	1	0
東 京 女 子	8	4	3	1	1
東 京 理 科	1	5	2	2	2
東 洋	43	39	49	62	31
日 本	28	27	50	29	38
日 本 女 子	3	2	1	3	0
法 政	6	4	17	4	7
東 京 都 市	0	1	0	0	0
明 治	4	0	12	8	4
明 治 学 院	7	4	9	3	5
立 教	3	7	6	5	4
早 稲 田	0	0	0	0	1
そ の 他	256	301	338	332	327
私 立 大 計	456	489	579	544	502

(主な公立大学)

大 学 名	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
茨 城 県 立 医 療	4	2	0	2	5
高 崎 経 済	3	1	4	4	1
東 京 都 立	0	1	2	0	0
横 浜 市 立	1	0	0	0	0
都 留 文 科	0	2	1	0	1
そ の 他	4	7	15	11	20
公 立 大 計	12	11	21	17	26

進路決定先人数

年 度	国公立大	私 立 大	短期大学	専門学校	就 職	未定・他	卒業者数
R 6	60	139	1	17	1	10	228
R 5	54	155	2	7	1	17	236
R 4	71	160	1	9	1	23	265
R 3	87	156	0	12	2	16	273
R 2	77	172	4	3	1	19	276

*～R4 7クラス
R5～ 6クラス

各学年の現状

一年次概況

一年次主任 酒寄 和記

一年次主任を務める酒寄です。下館一高には六年間の他校勤務を経て再赴任となりました。人事異動が決定し次年度の打合せで久しぶりに本校を訪れた際は、旧知の先生方とお会いして懐旧の情を感じた反面、附属中学校の新設や単位制課程への変更もあり、1年次主任を拝命することになり身が引き締まる思いでした。生徒の様子も附属中学校の存在によって大きく変わった印象を持ちました。以前は進路希望を聞くと、筑波大学や茨城大学といった大学名をあげる生徒が多く占めていました。今お預かりしている生徒は「獣医になりたい」「エンジニアになりたい」「弁護士になりたい」といった、キャリア目標を答える生徒が増えたと感じます。これらは附属中学校から続く指導の賜物と思います。高入生も内進生の刺激を受けながら、キャリア志向を強めていると感じます。

紫西会報

「企業訪問」を実施しました。各クラスで意見を交換し、そ

の意見を踏まえて東京都内の企業や団体と交渉し、マスコミ、金融、公官庁、製造、通信、流通、エンターテインメント、外食など、日本をリードする様々な産業を見学してきました。そういった場で働く大人の姿は、各々のキャリア目標に刺激を与えたと思います。また、都内に現地集合をしたことは、東京が遠くない存在と感じてもらえたと思います。

入学式後の説明会の際に、保護者の皆さまへ「私の勝手な思いですが、本校生には世の中を良くする仕組みを作る存在になってほしいと願っています。下館一高に入学した生徒たちはそれができる能力・資質があります。」とお話しさせていただきました。様々な学校で勤務をするなか、たくさんの方の苦しみを抱えた子供たちや大人の姿を見てきました。哲学者の言葉に「汝の幸せは、他人の幸せによってつくられ」というものがあります。また、「自分自身を幸福だと思わない人は、決して幸福になれない。」という言葉もありました。皆さんは自分と他人の幸せを願える人になってください。

「一生の仕事を見出した人には、ほかの幸福を探す必要はない。」

よい良いキャリア実現のための進路指導を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

二年次概況

二年次主任 海老澤淳子

高校生活での大きな行事のひとつ、修学旅行。今年度は十月五日から八日までの三泊四日で北海道に行ってきました。本校での北海道への修学旅行は、コロナ禍の令和二年以来となります。訪れたのは、札幌、小樽、そして留寿都村などです。ウポポイ（民族共生象徴空間）は、国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園、慰霊施設などを備えた、アイヌの歴史・文化を学び伝えるナショナルセンターです。アイヌ語で「ウポポイ」とはおおぜいで歌うこと、だそうです。それは、動物や植物、雷や風など大自然の中にいる神々との関わりの中で生まれてきたと考えられていて、文字を持たないアイヌ民族は、人から人へそれを伝えてきたのだそうです。公演の形で、祭り歌や遊び歌、作業歌などを見ることもできて、生徒たちは初めて耳にするその音楽や、独特の動きを興味深

く鑑賞していました。終わった後も口ずさんだり、真似をして踊ったりしている姿が見られました。博物館の展示なども時間が足りなくなるくらい熱心に見学していました。

また、バドミントンにゴムボートに乗り、みんなで力を合わせて川を下るフライング体験では、ちょっとした戦いもあり、まさに笑顔がはじけていました。定番の小樽散策をしたり、大倉山のスキージャンプ台や時計台などを見学したり、北海道ならではのグルメを楽しんだり、本当に楽しい四日間でした。自分たちで計画して進める行程も多く、困惑したこともあったようですが、トラブルも無く、元気に充実した時間を過ごせたと思います。

さて、修学旅行が終われば三年セロ学期です。言うまでもなく、受験は早くスタートすることが大切です。その切り替えもできたようです。教室の雰囲気は、修学旅行後には受験モードに近づいているようです。一人一人が自覚を持ち、前を見て、諦めずに努力することができれば、互いに勇気づけられて、互いに高まっていくような環境が出来上がっていくはずです。全員が、自信をもって卒業できるように、我々も精一杯支援していきたいと思っています。

三学年概況

三学年主任 太田 一也

思い起こせば、改修工事で本校体育館が使用できず、結城アクロスでの入学式。体育館での式であれば、昇降口での受付を済ませ、いったん自分が所属する教室に入り、担任からの指導を受けた後、式に臨むものであるのに、何の指導も行われないままの入学式に、担当教員みんなが不安を感じている中、いざ式が始まり呼名の場面。「きちんと返事ができるのだろうか。」と思っていると、そんな不安を一発でかき消してくれる元気な返事。「こんなきちんとした生徒しか見守らなければならない。」と強く心に思ったことが今日になって強く甦ってきています。

実際に三年生と過ごした日々は、心穏やかな、平和な日々の連続でした。職員室での同じ学年の担当教員の何人もから毎年、「今年の生徒、本当いい子たちだよ。」という言葉が聞けることができました。

そんな私自身も、数多くの場面で「すげえ、いい子たち

だなあ。」と何度も感じることもできましたし、何より三年間一度たりとも腹を立てたことがなかったのも、教員生活三十年以上の中で、初めての経験でした。

241名でのスタートを切った三年前、1名転学をしました。このまま行けば、240名での卒業となります。年度初めに毎年みんなにお願いしたことは、「連う高校に行ったら中学時代の友達に、一高いいよ、と思いつきり自慢できるくらいみんな仲良くしてほしい。」ということだけです。先生のそんなお願いをみんながきちんと心にためて、学校生活を送ってくれた結果の「240」という数字だと思います。私自身本校OBでもあり、何より「館一で良かった。」という思いを抱きながら卒業した一人です。240名が、私と同じような思いを持って卒業してくれるのではないかと信じています。入学した時から素直だったみんなを、素直なまま送り出せたのではないかと自負しています。素直で、思いやりのある、素晴らしい三年生、本当にありがとございました。そして、超超大好きでした。

進路状況

1/17 現在

報 西 会

国公立大学 (13名)

- ・茨城大学 4名
- ・筑波大学 3名
- ・県立医療大学 2名
- ・宇都宮大学 3名
- ・青森県立保健大学 1名

私立大学 (60名)

- ・茨城キリスト教大学 1名
- ・常盤大学 1名
- ・国際医療福祉大学 4名
- ・自治医科大学 1名
- ・獨協医科大学 1名
- ・白鷺大学 12名
- ・獨協大学 2名
- ・文教大学 2名
- ・北里大学 1名
- ・慶應義塾大学 1名
- ・國學院大学 1名
- ・順天堂大学 1名
- ・昭和女子大学 1名
- ・成蹊大学 1名
- ・成城大学 2名
- ・洗足学園音楽大学 1名
- ・大東文化大学 1名
- ・中央大学 4名
- ・東京家政大学 3名
- ・東京情報デザイン 1名
- ・東京女子大学 3名

専門学校 (9名)

- ・茨城県立中央看護専門学校 1名
- ・大原ビジネス公務員専門学校 3名
- ・校水戸校 3名
- ・小山歯科衛生士専門学校 1名
- ・東京ホテル・観光&ホスピタリティ専門学校 1名
- ・日本工学院専門学校 1名
- ・東京ホスピタリティ・アカデミー 1名



- ・東京薬科大学 2名
- ・東京理科大学 1名
- ・日本大学 1名
- ・法政大学 2名
- ・明治大学 2名
- ・明治学院大学 2名
- ・明治薬科大学 1名
- ・ヤマザキ動物看護大学 1名
- ・神奈川大学 2名
- ・関西学院大学 1名

令和7年度大学入学共通テスト平均点

科目	国語	地理総合 地理探究	歴史総合 日本史探究	歴史総合 世界史探究	公共・政治・経済	数学Ⅰ 数学A	数学Ⅱ 数学B、C	物理基礎	化学基礎	生物基礎
本校平均	117.8	46.8	50.7	58.1	61.2	46.7	38.6	30.3	30.4	32.1
全国平均	126.1	59.7	59.1	68.4	65.7	56.7	56.7	26.0	28.6	32.7
茨城県平均	123.0	57.0	53.0	66.3	60.0	50.5	46.8	22.5	25.6	30.6

科 目	地学基礎	物 理	化 学	生 物	英語リーディング	英語リスニング	情 報 I
本校平均	35.2	43.4	31.9	55.3	50.4	56.3	63.0
全国平均	35.7	60.9	47.7	54.0	59.7	62.9	73.1
茨城県平均	33.1	55.4	41.8	49.1	55.3	60.0	67.2

*全国平均は大学入試センター
中間発表、茨城県平均は高教
研の集計によるものです。

学 校 生 活



部活動報告

全国大会出場

ライフル射撃部

☆第78回国民スポーツ大会（SAGA2024）

チームピストル60発女子 7位 大林莉緒（明野中）

第62回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

エアライフル40発男子

女子

小林弥来（桃山学園）

林直輝（友部中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

関東大会出場

陸上部

☆北関東高校総体陸上

女子400m出場

☆第97回関東陸上競技選手権大会

女子1000m、4000m出場

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

中村美月（本校附属中）

ライフル射撃部

☆令和6年度関東高等学校ライフル射撃競技大会

兼第50回関東高等学校ライフル射撃選手権大会

エアライフル60発男子

小林弥来（桃山学園）

林直輝（友部中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

大島心海（下館南中）

弓道部

☆第1回関東高等学校弓道選抜大会

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

女子団体の部出場

水泳部

☆令和6年度第75回関東高校水泳競技大会

200m個人メドレー出場

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

菅野慶吾（結城中）

登山部

☆令和6年度全国総合体育大会・関東大会

男子団体の部出場

男子団体の部出場

男子団体の部出場

男子団体の部出場

男子団体の部出場

男子団体の部出場

男子団体の部出場

男子団体の部出場

男子団体の部出場

文芸部

☆第二十六回俳句甲子園地方予選高崎会場

最優秀句 谷田優太（本校附属中）

最優秀句 谷田優太（本校附属中）

最優秀句 谷田優太（本校附属中）

最優秀句 谷田優太（本校附属中）

最優秀句 谷田優太（本校附属中）

最優秀句 谷田優太（本校附属中）

高校部活動紹介

- 1 目標
- 2 部員人数
- 3 活動場所
- 4 活動日

硬式野球部

1 夏の選手権大会ベスト8
を目標に全員が日々の練習に一生懸命取り組んでいます。

2 十九名（四名）

3 グラウンド

4 火曜日・日曜日

軟式野球部

1 人数が少ないという逆境に負けず、文武両道をして全員野球で関東大会出場を目指す。

2 十名（二名）

3 グラウンド

4 火・土曜日

サッカー部

1 県大会ベスト8を目標に、自分たちで考えられるチームを目指し日々の練習に励んでいます。

2 十八名（四名）

3 グラウンド

4 火・土曜日



報 陸 上 部

- 1 選手全員県大会出場
8人関東大会出場
- 2 十四名(二名)
- 3 特別棟周辺、50mレーン
- 4 月火木金土曜日



男子バスケットボール部

- 1 県大会ベスト8を目標に、周りから応援されるようなチームを目指し、練習に励んでいます。
- 2 十八名(二名)
- 3 体育館
- 4 日、月曜日以外



女子バスケットボール部

- 1 県大会ベスト16を目標に互いに高め合い、応援されるチームを目指して練習に励んでいます。
- 2 十四名(三名)
- 3 体育館
- 4 毎週月曜日以外



男子バレーボール部

- 1 県大会出場を目指してみんなで切磋琢磨し頑張ります。
- 2 十一名
- 3 体育館
- 4 月曜日、水曜日以外



女子バレーボール部

- 1 県西三位、県大会出場を目標に部員全員が切磋琢磨し合いながら日々の練習に励んでいます。
- 2 六名
- 3 体育館
- 4 水曜日以外



卓球部

- 1 男子は県大会二回戦突破、女子は一回戦突破を目標に全員が強いチームを目指しています。
- 2 九名
- 3 卓球場(旧給食室)
- 4 火曜日から日曜日



バドミントン部

- 1 男子は団体で県ベスト8、女子は県大会出場
- 2 二十三名
- 3 体育館、下館トレーニングセンター
- 4 月水木金、土か日



男子ソフトテニス部

- 1 個人、団体どちらも県大会出場
- 2 十七名
- 3 テニスコート
- 4 火、金曜日、土日どちらかの週5回



女子ソフトテニス部

- 1 個人はそれぞれの目標に向けて、団体は県大会出場を目標に日々練習に取り組んでいます。
- 2 八名
- 3 学校のテニスコート
- 4 火曜、金曜、土日のどちらか



ハンドボール部

- 1 県大会で一勝を目標に日々練習に励んでいます。
- 2 十一名(二名)
- 3 ハンドボールコート
- 4 火、金曜日、土曜日から日曜日



ライフル射撃部

- 1 一人一人が自分の目標を持って日々活動し、関東全国大会出場を目指しています。
- 2 十六名
- 3 旧定時制給食室、県内ライフル射撃場
- 4 毎週火、金、日曜日



剣道部

- 1 人数は少ないですが、日頃から意識の高い練習をしています。目標は関東大会出場です。
- 2 四名
- 3 格技場
- 4 火、水、木、金、土か日曜日



柔道部

- 1 県ベスト3!
- 2 一名
- 3 格技場
- 4 月、火、木、金、土



弓道部

- 1 全国大会二年連続出場
- 2 二十五名
- 3 弓道場
- 4 火曜日から土曜日



水泳部

- 1 大会でベストが出せるように各自の練習に励んでいます。
- 2 二名
- 3 各スイミングクラブ
- 4 各自



登山部

- 1 関東大会、インターハイの出場を目指して、日々体力・筋力トレーニングに励んでいます。

- 2 九名
- 3 物理室
- 4 毎週月曜日・金曜日



ダンス部

- 1 コンテスト入賞
- 2 二十三名
- 3 紫西会館
- 4 火、水、金、土



チアリーディング部

- 1 学校や地域のイベントでお客様に元気や笑顔を与えることです。

- 2 十一名
- 3 体育館スナージ
- 4 火、水、木、金



書道部

- 1 全国高等学校総合文化祭の出場
- 2 十一名
- 3 決まっています（今は社会科室と物地講義室をお借りしています）。
- 4 水曜日・木曜日



茶華道部

- 1 おもてなしの心を大切に、美味しいお茶を淹れます。稽古を通して、茶道の魅力に触れませんか。

- 2 十三名
- 3 茶道室
- 4 月一回火曜日



理科部

- 1 好奇心と遊び心で実験や探究活動を行い、夏と冬には天体観測台に参加しています。

- 2 九名
- 3 化学室
- 4 火曜日



美術部

- 1 県展に出展できる作品作り、部活に来るのが楽しみになるような環境づくりを心がけています。

- 2 二七名
- 3 美術室
- 4 毎週木曜日



放送部

- 1 部員それぞれが関東、全国大会出場を目標として日々練習に励んでいます。

- 2 三名
- 3 放送室
- 4 火・水・木曜日



写真部

- 1 写真を通して誰かに伝えたいものや、残したいものをそれぞれが思うままに写真に収めること。

- 2 十二名
- 3 生物室、多目的室
- 4 月一回程度、美術展やフォトセミナーによる公欠活動あり



軽音部

- 1 地域の色々なイベントに出演する

2 二十八名

3 保健室前部室棟

4 バンド単位で週一程度

ボランティア部

- 1 様々な経験を通じて、自分の視野を広げるなどの自己成長につなげつつ、社会貢献をする。

2 八名

3 物理地学講義室

4 月曜日の昼休み

執行部

- 1 生徒が主体となつて学校中が楽しいと思えるような行事にできるよう、七曜祭やクリスマスマッチなどの行事を運営しています。



生徒会

- 1 学校生活環境の向上への活動に加え、地域イベントの奉仕活動など地域活性化にも力を入れていきます。公約実現に向けて諸組織とも積極的に連携をしながら課題解決に取り組んでいます。

2

会長	筒井 輝
副会長	飯島 悠加
書記	齊藤 帆香
会計	石川 隼
監査	根岸 悠斗
成田 星	中島 大稀

高校・附属中合同で活動しています

硬式テニス部

- 1 私たちは、心身の向上と県大会出場を目標に日々練習に取り組んでいます。

2 高校十三名 中学二名

3 県西公園テニスコート

4 水・木・土・(日) 曜日

吹奏楽部

- 1 高校生、中学生共に吹奏楽コンクールで県大会出場を目標に、日々練習に励んでいます。

2 高校三十名、中学六名(二名)

3 音楽室

4 火曜日・土曜日



文芸部

- 1 俳句甲子園の全国大会出場を目指し、句会などで季語の活かし方や表現力の向上に努めています。

2 高校十三名 中学七名

3 LC教室

4 毎週水曜日

英語部

- 1 英語で話したり、より深い英文法を学んだりして、英語を使いこなせるように日々励んでいます。

2 高校八名、中学七名

3 多目的室

4 火曜日、金曜日



附属中学生も

頑張っています

男子バレーボール部

1 僕たちの部活はたくさん
声を出しチーム一体とな
って県大会に出場するこ
とを目標にしています。

2 八名

3 体育館

4 月・火・木・金・土・日

(土日は不定期)

女子バレーボール部

1 私達は県西大会出場を部
の目標とし、部員十名全
員が日々練習に一生懸命
取り組んでいます。

2 十名

3 体育館

4 月・火・木・金・土(日)

卓球部

1 日々、部活動に励み県西
大会に出場すること。

2 八名

3 卓球場

4 月・火・金・土

陸上部

1 部員全員が県大会出場を
目指して、鼓舞し合いな
がら日々練習に励んでい
ます。

2 十九名(四名)

3 グラウンド

4 月・火・木・土曜日

理科部

1 理科部では、理科の幅広
い分野を愉快的仲間たち
と一緒に楽しく実験や探
求をしています。

2 四名

3 生化学講義室

4 火・水・木

クリエイティブ部

1 仲間とともに自由気まま
に楽しみながら、好きを
極め、いい作品を掌から
届けています。

2 十名

3 生物化学講義室

4 火・水・木の週三日

令和六年度

職員異動

一 退職者
教諭(数学) 栗野 尚子
講師(数学) 岩田 隆

二 転出者

校長 奈良由紀子
教頭(常陸大宮高校長へ)
堀川 洋

附属中教頭

(下館商中校長へ)
谷島 敏浩

教諭(国語)

中原 正人

教諭(地歴)

市村 太一

教諭(国語)

(結城二高へ)
田崎 聡子

教諭(英語)

(下妻一高へ)
有年 恵一

教諭(地公)

(本校附属中へ)
渡邊 拓也

附属中教諭(英語)

笠原 一昌
(藤代紫水高へ)

講師(理科)

(本校高校へ)
鈴木 拓馬
(岩瀬日大高へ)

講師(家庭)

須藤 弘子
(土浦二高へ)

講師(英語)

坂口 文江
(伊奈高へ)

事務(主任)

深谷 俊輝
(古河中等学校へ)

三 転入者

校長 木村 功
教頭(水海道一高より)
中尾 健一

附属中教頭

(石岡一高より)
入江 宏昭

教諭(数学)

(香掛小より)
昂川 浩史

教諭(地公)

(古河三高より)
本田 信司

教諭(英語)

(下館二高より)
笠原 一昌

教諭(数学)

(本校附属中より)
酒寄 和記

教諭(地公)

(石岡二高より)
廣木 達也

教諭(英語)

(結城一高より)
森 健人

教諭(理科)

(下館二高より)
齋藤 真輝
(新規採用)

教諭(国語)

大野 修平
(八千代高より)

教諭(国語)

塙 月琴乃
(新規採用)

附属中教諭(英語)

有年 恵一
(本校高校より)

講師(国語)

小島 和男
(水戸雙学校より)

講師(国語)

中村恵里奈
(日立工業高より)

講師(理科)

中島 陽樹

講師(理科)

相沢 利一

講師(地公)

土井 英紀

事務(主事)

飯島 一輝
(新規採用)

令和六年度

同窓会学年幹事

一組 大山稜介 染谷柚衣奈
二組 稲葉彩花 間野大馳
三組 大沼愛莉 山崎豊隆
四組 高木晴太 平井千晴
五組 直井岳人 三上鼓々
六組 藤原奈央 加藤駿之介

同窓会報告

第48回卒 早瀬 義弘
令和6年11月30日筑西市の
ホテルニューつたに於いて
下館一高(昭和47年3月普通
科卒)の同窓会を開催いたし

ました。コロナ禍の影響でな
かなか開催ができませんでし
たが、コロナも落ち着き今回
は8年ぶりに3回目の学年同
窓会を開催することができま
した。

県外に住んでいる方も遠
路のところ出席頂き
楽しい時を過ごしま
した。年齢70才を超え
ても高校の同級生と
会えば当時にどおり、
懐かしい思い出がよ
みがえります。

下館一高は昨年創
立100周年を迎え、
その記念事業の一つ
として作成された過
去及び現在の一高の
映像DVDを宴会の
中で上映いたしました。
今はなき旧校舎
の懐かしい姿、また
現在の校舎・教室を
見て下館一高に対す
る愛着がさらに増し
た感じがいたします。

今後とも母校の
益々の隆盛を祈念し、
またの再会を約束し
散会いたしました。

創立100周年 記念募金について

令和5年度にご協力をお願
いいたしました募金には、締
め切り後にも寄付金がよせら
れています。第54号紫西会報
にご報告いたしました寄付金
寄贈者御芳名以降にご寄付を
頂いた方のお名前を掲載させ
ていただきます(敬称略)。

池羽正路 梅澤正子
水越茂 渡邊謙次
下館紫西同窓会筑西支部

なお、第54号紫西会報の寄
付金寄贈者御芳名に記載漏れ
がありましたのでお詫びして
ご報告いたします。

宮原貞夫 高島健

また、読み等に誤りがあり
ました。正しくは、
清宮正人
(キヨミヤ→セイミヤ)

小嶋勝五郎
(コシマ→オシマ)

水越司→水越司雄
訂正させていただきます。

寄せられました募金は「教
育活動支援基金」として管理
され、海外語学研修・部活動・
学習進路指導等に活用させて
いただくとともに、令和6年
度中には同窓会館の改修工事

を予定しています。

今後とも母校を応援するた
めに、引き続き「教育活動支
援基金」への寄付をお願いで
きれば幸いです。

振込先 ゆうちょ銀行
口座記号番号
00220-2-1173007

口座名義
下館一高百周年実行委員会

ゆうちょ銀行以外の金融機
関から振り込む場合は、以下
の店名・預金種目・口座番号
をご指定ください。

銀行名 ゆうちょ銀行
金融機関コード 99000

店名 〇二九ゼロロキユウ

店番 〇〇29

預金種目 当座

口座番号
01173007

口座名称
下館一高百周年実行委員会

同姓同名対応のため、ご依
頼人の名前とともに卒業年か
卒業回をご記入ください。

部活動・学習支援 報告

今年度、全国大会、関東大
会の出場した部活動とオース
トラリア語学研修に対して
支援をいたしました。

部活動

全国大会

ライフル射撃部 弓道部

文芸部 吹奏楽部

関東大会

陸上部 水泳部 登山部

オーストラリア語学研修

参加生徒50名

(高校生34名、附属中生16名)

編集後記

今年度、新たに二四〇名の
同窓生を迎えました。

昨年の夏も猛暑続きでした
が、本校の部活動も熱い一年
でした。全国大会常連のライ
フル射撃部、文芸部の俳句甲
子園連続出場や弓道部の初の
全国大会出場、水泳部や陸上
部は個人での関東大会出場と、
たくさん的好成绩がありまし
た(硬式野球部は一年ぶりに
四回戦に進出。OBでもある
私にとっては感慨深い夏と
なりました)。

来年度、本校は進学重視型
単位制の完成年度となります。
また附属中出身の生徒が三年
生そろそろ、新しいスター
トの一年になります。後輩た
ちがいよいよと学校生活を送
れるよう、一教員して尽力し
たいと思います。

最後になりますが、お忙し
い中、快く寄稿くださった林
会長をはじめ、諸先生方、生
徒も皆さんのご協力で会報発
行の運びとなりました。この
場を借りて御礼申し上げます。
(館野 記)

編集委員

館野 友一

菊地 宏之

中原 啓朋

福田 侑平

塙 月琴乃

写真提供

鈴木写真館